

国際文化研究科の 特色

1

創造性に満ちあふれた人材の養成

本研究科は、人類社会が直面する様々な問題に立ち向かってゆくため、みずから新たな問いを立て、それに挑戦していくことのできる創造性に満ちあふれた研究者や職業人を養成しています。

2

世界を舞台に活躍できる人材の養成

本研究科は、様々な人々との交流を通じて豊かな体験を積み、十分なコミュニケーション能力を身につける場を提供することを通して、世界を舞台に活躍できる優れた人材を養成しています。

3

世界と地域に開かれた研究科

本研究科は、世界と地域に開かれた研究科として、社会人・外国人留学生を含む優れた人材の発掘につとめ、個々の学生の研究学習条件に配慮した支援態勢の整備を進めています。

4

挑戦者精神の尊重

本研究科は、内外の様々な学部や研究科を修了した優秀な学生を受け入れています。新たな学問分野にこれから挑戦していこうとする意欲にあふれた学生にも十分配慮した指導を行っています。



31st
Anniversary
GSICS
TOHOKU UNIVERSITY



東北大学大学院
国際文化研究科

31年の
あゆみ

2024年12月



31st
Anniversary
GSICS
TOHOKU UNIVERSITY

東北大学大学院国際文化研究科

〒980-8576 仙台市青葉区川内41

Tel. 022-795-7541

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

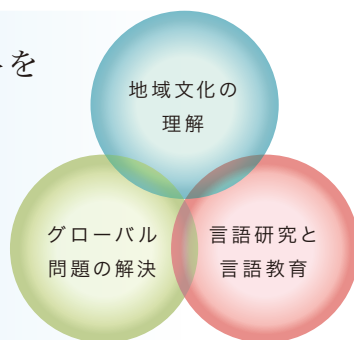


国際文化研究科の理念・背景

国際文化研究科は、グローバル化、ボーダーレス化が進む21世紀の世界を背景に、さまざまな地域文化、その文化が生まれ発達する場となる社会・言語の3つを国際的視点、学際的観点から研究し、その成果を学生の教育に還元していくことを目指しています。そこで、本研究科では、3つの大きな研究系を柱にして、地域文化の理解、異文化が出会う環境来る言語の本質の探究から効果的な言語教育への応用をめざす研究グローバルな活躍ができるリーダーを育成しています。

世界を背景に、さまざまな地域文化、その文化が生まれ発達する場となる社会・言語の3つを国際的視点、学際的観点から研究し、その成果を学生の教育に還元していくことを目指しています。そこで、本研究科では、3つの大きな研究系を柱にして、地域文化の理解、異文化が出会う環境来る言語の本質の探究から効果的な言語教育への応用をめざす研究グローバルな活躍ができるリーダーを育成しています。

国際文化研究科を
支える
教育領域



NEW
グローバル
人材の育成

世界トップクラスの教育・研究環境で、次の3つの能力育成に重点をおく高度な教育プログラムを提供し、高度専門職業人、教育者・研究者などのグローバル人材育成に寄与することをめざします。

- ①異文化への深い理解力
- ②グローバルな問題の解決力
- ③高度なコミュニケーション能力



国際文化研究
専攻

- ヨーロッパ・アメリカ研究講座
- アジア・アフリカ研究講座
- 現代日本メディア・ジェンダー研究講座
- 日本宗教・思想史研究講座
- 国際政治経済論講座
- 国際環境資源政策論講座
- 多文化共生論講座
- 言語科学研究講座
- 応用言語研究講座

地域文化研究系

日本を含む世界各地の文化と社会の固有性や多様性を解明します。

グローバル共生社会
研究系

安全保障、経済、資源、環境、人権など地球規模の課題に対して人文社会科学・持続可能性科学の視点から取り組みます。

言語総合研究系

コミュニケーションの基盤である世界諸言語の先進的な研究と言語教育の実証的な研究をめざします。

国際文化研究科修士生の多くは、国内外の大学や研究機関、公的機関や地方公共団体、教育機関、企業などで活躍しており、また、所属の学生は、国際的、学際的な視点から、論理的、批判的に物事を見る研究態度を身につけ、異文化への深い理解力、グローバルな問題の解決力、コミュニケーション能力を育みつつ、研究者としての基礎を培っています。

国際文化研究科修士生の多くは、国内外の大学や研究機関、公的機関や地方公共団体、教育機関、企業などで活躍しており、また、所属の学生は、国際的、学際的な視点から、論理的、批判的に物事を見る研究態度を身につけ、異文化への深い理解力、グローバルな問題の解決力、コミュニケーション能力を育みつつ、研究者としての基礎を培っています。

沿革

1993年	・国際文化研究科設置 ・国際地域文化論専攻、国際文化交流論専攻の2専攻体制
1998年	・外部評価実施
2001年	・国際地域文化論専攻、国際文化交流論専攻に国際文化言語論専攻を加え3専攻体制となる
2002年	・21世紀COEプログラム 「言語・認知総合科学戦略研究教育拠点」開始
2005年	・「ヒューマン・セキュリティ連携国際教育プログラム」開始 ・外部評価実施
2007年	・言語脳認知総合科学研究センター設置
2012年	・英語プログラム「言語総合科学コース (IGPLS: International Graduate Program in Language Sciences)」開始
2014年	・国際文化研究科東棟改修工事竣工
2015年	・従来の3専攻を廃止し、国際文化研究専攻を設置。1専攻8講座体制となる ・学際研究重点プログラム「世界発信する国際日本学・日本語研究拠点形成」開始 ・社会にインパクトある研究「創造する日本学：世界が共感する「日本文化」の創造的価値の探究」開始
2018年	・外部評価実施 ・東北大学SDGsシンポジウム「持続可能な開発目標 (SDGs) の達成とグローバル人材」開催
2019年	・英語プログラム「グローバルガバナンスと持続可能な開発プログラム (G2SD: Graduate Program in Global Governance & Sustainable Development)」開始 ・「日本学国際共同大学院」開始 ・「災害科学・安全学国際共同大学院プログラム」開始
2024年	・国際日本研究講座が現代日本メディア・ジェンダー研究講座、日本宗教・思想史研究講座に改編され、1専攻9講座体制となる ・国際文化研究科西棟改修工事竣工